

いなさの風

No.25

令和7年 2月27日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町11番1号

長崎市立稲佐小学校長

岡田 政宏



学校教育目標 **たくましく未来を切り拓く子どもの育成**
「なりたい自分になる」 いなさっ子の**学びの多様化**に応える

特別支援教育ってなに？(その2)

トモエ学園のような学び舎を目指して

学校には、校長、教頭、学年主任、担任、そして特別支援教育コーディネーターがチームとなり、子どもと保護者を支援する方策について話し合う「校内支援委員会」があります。お子さんの生活や学習の様子で心配なことがある時は、どうぞお気軽に学校にご相談ください。

校内支援委員会では、子どもたちの「良いところ」と「気になるところ」を整理しながら、特別な教育的支援が必要かどうか検討します。必要に応じて、専門家による巡回相談を受けることもできます。より詳しくお子さんが感じている苦しさ、困難さを知ることができ、適切な支援につなげることができます。(計画的な予約が必要)

また、通常の学級の集団刺激の中で様々なトラブルに悩んでいる場合には、週に一回ほどの頻度で通級指導教室に通い、苦手克服のためのトレーニングを行うこともできます。(現在、本校にはないため、他校に依頼して他校通級しています)



子どもに委ねる学びへの挑戦

本年度最後の公開授業

本年度から本校の校内研修として研究を進めてきた「子どもに委ねる学び」。年度内最後の公開授業として1年2組の子どもたちと先生がチャレンジしました。今年度からクロームブックを使い始めた1年生が、今年度から使い始めたキャンバス(デザインアプリ)を使いこなし、算数の学習に主体的に取り組みました。(動画参照)

7・8年度の2か年は、長崎県教育委員会・長崎市教育委員会の研究協力

先生

No.25



今回は、特別支援教育支援員の〇〇〇〇(〇〇〇〇)先生です。おいしい給食が食べられるからというのも現職を選んだ一つの理由だとか。福山雅治さんの「トモエ学園」の撮影が行われた年から本校で支援員をされています。あの時の体育館でのミニライブが忘れられないと、スタジアムシティのこけら落としライブにも参上(掲載写真参照)。ご主人様が当選されたそうです。(羨ましい!) いなさっ子た



牡牛座

常に平常心

ちから、いつもたくさんのパワーをもらっているという〇〇さん。特別支援教育の充実のために、これからもよろしく願います。

3月の主な行事

5日	短縮木曜日課(7日も)
10日	給食カット・午後カット
11日	短縮木曜日課
12日	卒業式予行練習(1~4年 給食後下校)
18日	卒業式(5・6年のみ参加)
19日	短縮木曜日課(21日も)
24日	修了式・離任式

※公開授業等の様子は、ホームページでは開きません

校として、この個別最適な学びの研究を深化させてまいります。

1の2(算数)

ケセラセラ

「ディープシーク・ショック」をご存じでしょうか。中国企業が低い開発コストで高性能のAIモデルを公開したことで、AI業界に激震が走ったのです。文部科学省は、子どもたちの人工知能AI利用について、これまで「限定的な利用から始めることが適切」というガイドラインを出していましたが、今回制限的な書きぶりは全て削除され「AI時代を生きる子どもたちが生成AIをはじめとするテクノロジーをツールとして使いこなし、一人一人が才能を開花できるようになることは重要であり、生成AIの学校における活用は、そのための助けになり得るものである。」というように、学校での生成AIの活用について充実させていく必要があるという素案を発表しました。ところで、それを子どもたちに指導するのは誰でしょう。教師はAIについて、学んだことはなく、指導法や活用方法は研修の機会を作らないと身に付きません。このように、新たな学びの内容に対応していくため、教師にはもっと勉強する機会と時間が必要だと考えています。来年度からの本校の改革にどうぞご理解・ご協力をお願いします。

